

校 報	<b>誕生寺NOW!</b>	<b>岡山県立誕生寺支援学校</b>
		学校URL <a href="http://www.tanjoji.okayama-c.ed.jp/">http://www.tanjoji.okayama-c.ed.jp/</a>

## 優先すべきは「授業」や「生活指導」



### 教職員の「働き方改革」を考える

岡山県立誕生寺支援学校長 有本 明彦

1月中旬から県内でインフルエンザが猛威を振るっています。先月25日以降、県内には引き続きインフルエンザ警報が発令されています。ご家庭でも、お子様をはじめご家族皆様の健康管理には、くれぐれもご留意ください。

さて、昨年から国や県を挙げて、教員の働き方について、様々な議論がされています。特に中学校教員の残業は、過労死ライン（月80時間）を超える時間外勤務が明らかになっており、今後の教員の勤務の在り方等が問われています。

マスコミ等は、主に小・中・高等学校の教員の長時間勤務を取り上げていますが、特別支援学校の教職員も同じ課題はあると思っています。特に、特別支援学校は、児童生徒の実態に合わせて目標を設定し、「何を、何のために、どのように教えるか」等々を教職員同士で話し合いながら、指導構想（社会情勢・子どもたちの現状と課題・目指す育みたい力・指導の流れ等々）を練り上げ、日々の授業や寄宿舎生活の指導に取り組んでいます。常に「子どもたちの成長・自立のために」という強い思いから、教職員同士の熱い議論や教材準備等は尽きません。

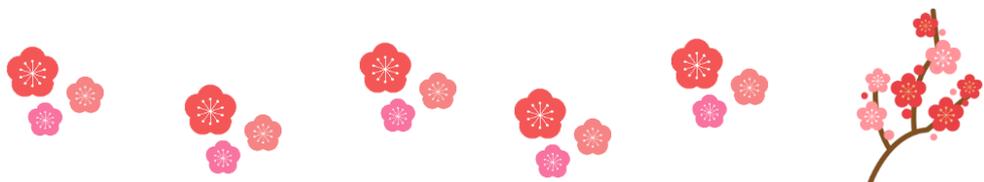
教育はエンドレスの仕事と良く言われますが、教職員にも家庭・家族があり生活もあります。今後、仕事と私生活とのバランスについて、教職員自らの意識改革が益々必要であると強く感じています。

私は、常々教職員には、子どもたちを毎日「笑顔で迎え、笑顔で見送ろう」と言っています。声を掛けられること、認められ受け入れられることは、誰もが嬉しいものです。そんな我々教職員の笑顔も、日々心身ともに健康であるからこそ自然に生まれるものだと感じています。

幸いにも、本校は、PTA活動や学校支援地域本部事業（ボランティア活動等）など、保護者や地域の支援を効果的に受けられる仕組みがしっかりしており、とてもありがたく感謝の気持ちで一杯です。

今、世間で言われている「働き方改革」は、教職員のためであるとともに、実は子どもたちのためであることも、決して忘れてはならないことだと思っています。

これからも、引き続き、保護者や地域の皆様には、ご理解ご支援のほどよろしくお願いたします。



# 今月の進路情報

## ヘルプマークを知っていますか？



右のマークをご覧になったことがあるでしょうか？  
 これは障害や難病、妊娠初期の方など、配慮や援助を必要としていることを周囲の人に知らせる「ヘルプマーク」です。  
 現在、津山市、鏡野町、美咲町、久米南町、真庭市（県南や他県でも）で導入を始め、周知を呼びかけています。  
 ヘルプマークはカバンなどに付けられるようになっていますが、マークだけでは具体的な支援内容がわかりにくいので、「困っていたら（電話番号等）に連絡ください」や聴覚障害の方などは「筆談をお願いします」とメモしたシールを裏面に貼っておくと伝わりやすくなります。このマークをつけることで本人や保護者の安心につながりますが、支援する側も知っておく必要があります。市町村単独でなく、広く自立支援協議会とも連携し取り組みを拡大していますので、気にとめてくださればと思います。  
 ヘルプマークは上記の市町村の福祉課で無償交付しています。

## 授業の様子（B部門）

## 3月の主な行事

B小  
トントン相撲で  
対戦していま  
す。



- 2日（金） 弓削校地卒業式
- 5月）～9日（金） 懇談週間（弓削校地）
- 13日（火） 部活動（弓削校地）
- 14日（水） 誕生寺校地卒業式
- 20日（火） 修了式



B中  
白玉団子作りで生地  
をこねています。



B高  
ホッケーで冬の寒さ  
を吹き飛ばしていま  
す。



B高  
百人一首の絵を見な  
がら和歌の響きを聞い  
ています。